

## 第4部 ヒアリング調査の結果

---



## 1 ヒアリング調査の主な項目

### (1-1)ヒアリング調査の設問項目《禁煙対策実施店舗》

- ①受動喫煙防止対策の取組をおこなったきっかけ、理由(相談先等)
  - ②受動喫煙防止対策の概要  
(表示の有無、分煙の場合仕切りの構造、店内見取図による対策の内容等)
  - ③未成年従業員がいる場合、(過去にいた場合)、具体的な未成年従業員への受動喫煙防止対策を行っているか
  - ④今後「店頭」に禁煙マーク等を表示する場合、どのような「デザイン」、「形状」、「サイズ」であれば、表示したいか。(アンケート項目以外で)対策を実施したきっかけや経緯
  - ⑤法律や条例による一律の規制についての意見(アンケート項目以外で)
  - ⑥受動喫煙防止対策を実施する際に留意した点、または留意すれば良かった点
  - ⑦受動喫煙防止対策の費用
- ① 売上げの変化(回転率が上がった、客単価が上がった、客層の変化等)
  - ② お客さまの反応(煙が流れる分煙の場合、非喫煙者からの反応は)
    - ⑩店内を全面禁煙にしている場合、喫煙したいお客さまへの具体的な対応策や説明方法(特に港区は路上喫煙禁止地区が多いため、店外も喫煙場所がない場合等はどのように対策を取っているのか、また喫煙できないのであれば利用しないというお客さまへの対応等)
    - ⑪外国人のお客さまに対する受動喫煙防止対策の取組への対応で苦労した点
    - ⑫これから受動喫煙防止対策の実施を検討している飲食店へのアドバイス

### (1-2)ヒアリング調査の設問項目《禁煙対策非実施店舗》

- ①客層が現状のままである場合、どのような条件であれば、今後、受動喫煙防止対策を講じようとして検討するか(例えば、店外に喫煙場所が確保できれば、店内禁煙は可能か等)
- ②禁煙・分煙等の対策はしていないが、お客さまへの配慮としての取組(アンケート項目以外で)
- ③未成年従業員がいる場合、(過去にいた場合)、具体的な未成年従業員への受動喫煙防止対策を行っているか
- ④今後「店頭」に「喫煙可能なお店」等を表示する場合、どのような「デザイン」、「形状」、「サイズ」であれば、表示したいか。(アンケート項目以外で)
- ⑤法律や条例による一律の規制についての意見(アンケート項目以外で)
- ⑥受動喫煙防止対策をしていないことで、お客さまとトラブルになったことがあるか。その際の対応策は
- ⑦非喫煙者の方からの要望・苦情等はあるか。その際の対応策は
- ⑧全面禁煙の店が増えている、また路上喫煙禁止の地域が厳しくなっていることによるお店への影響は(他店の対策から、喫煙者が増えているか)
- ⑨1日どれくらいの喫煙者がきていて、どこで喫煙しているのか
- ⑩外国人のお客さまに対する対応(特に外国人客が多い地域)

## 2 ヒアリング調査対象

ヒアリング調査を行った84店の内訳は、以下のとおりである。

### 《禁煙対策実施店舗》

業種	席数						合計	参考事例	
	10席未満	10～19席	20～29席	30～49席	50～99席	100席～			
一般飲食店	喫茶店				4		4		
	ファミリーレストラン					1	1		
	そば・うどん店		1			2	3		
	すし店	1	2		1		4		
	そば・うどん店、すし店以外の日本料理店		2	1	3	3	2	11	1,2,3,4,5,9
	西洋料理店	1	1		1	3		6	8
	中華料理店				1		1	2	
	焼肉、カレー、エスニックなど			1	1			2	
	一般食堂			1		1		2	7
	ファーストフード				1			1	
遊興飲食店	お好み焼き、もんじゃ焼き								
	料亭					1	1		
	小料理店								
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ		1				1	6	
	酒場、ビヤホール			2		3		5	10
その他					1		1		
合計	2	7	5	12	14	4	44		

### 《禁煙対策非実施店舗》

業種	席数						合計	参考事例	
	10席未満	10～19席	20～29席	30～49席	50～99席	100席～			
一般飲食店	喫茶店								
	ファミリーレストラン								
	そば・うどん店								
	すし店								
	そば・うどん店、すし店以外の日本料理店		1	1	1			3	
	西洋料理店			1	1	1		3	1
	中華料理店								
	焼肉、カレー、エスニックなど		1		1	1		3	8
	一般食堂								
	ファーストフード								
遊興飲食店	お好み焼き、もんじゃ焼き								
	料亭								
	小料理店		4					4	4
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	3	8	3	1			15	
	酒場、ビヤホール	2	5	2		2	1	12	2,3,5,6,7,9,10
その他									
合計	5	19	7	4	4	1	40		

### 3 ヒアリングでの主な意見等

#### (1) 受動喫煙防止対策実施店舗

##### 1. 受動喫煙防止対策の取組をおこなったきっかけや経緯

###### (ア) お客さまの変化

- ・喫煙されるお客さまが少なくなってきた。(時間・空間分煙、一般飲食店)
- ・お客さまの年齢が比較的高いので、健康面を考えた。(時間・空間分煙、一般飲食店)
- ・家族連れのお客さまが増えたため。(時間分煙、遊興飲食店)

###### (イ) お客さまからの要望や苦情

- ・お客さまから「健康志向の食事内容なのに何故、全面禁煙にしないのか」と言われた。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・喫煙者と非喫煙者のお客さまで口論になったことがある。(時間・空間分煙、遊興飲食店)
- ・お客さまから「禁煙にしろ！」と電話がかかってきた。(時間分煙、一般飲食店)

###### (ウ) 近隣環境、風潮の変化

- ・近隣飲食ビルが全面禁煙を始めたので。(時間分煙、一般飲食店)
- ・入居しているビルも館内は禁煙の場所がほとんどになったので。(時間分煙、遊興飲食店)
- ・喫煙に配慮する近隣の商店街への付き合いもあり。世の中の風潮から。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・観光地なので禁煙への取り組みが強く、周りも禁煙の店舗ばかりなので。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・喫煙に対する厳しい風潮、時流に配慮した。(空間分煙、一般飲食店)

###### (エ) 料理の味や香りに配慮

- ・喫煙者にも禁煙者にも独立した空間でお料理やお飲み物を楽しんでもらいたい。(空間分煙、一般飲食店)
- ・お店が狭いので、タバコの香りが食べ物につくのが、どうしてもいやだった。(全面禁煙、一般飲食店)

###### (オ) その他

- ・タバコの煙が漂っている店舗に妊婦や子供が食事している姿が従業員にとっても気がかりだった。(空間分煙・一般飲食店)
- ・アルコールをメニューに出さないランチタイムだけは全面禁煙としている。(時間分煙、一般飲食店)
- ・新築のきれいな内装にヤニとかの汚れを付けたくなかった。(空間分煙、一般飲食店)
- ・経営者自身がタバコを吸わないので、お客さまにも吸ってほしくなかった。(時間分煙、一般飲食店)
- ・他店との差別化を図りたかった。(全面禁煙、遊興飲食店)

## 2. 対策を実施したことによる影響、売り上げの変化

### (ア) お客さまの増加

- ・一時的に売り上げが減ったが、吸わないお客さまが増えて、徐々に元の売り上げに戻ってきた。(空間分煙、一般飲食店)
- ・全面禁煙直後は売り上げが若干落ちたが、だんだん以前と同じくらいに盛り返してきた。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・団体客が取れやすくなったり、土日は家族連れが増えたりして、トータルでは売り上げアップ。(時間・空間分煙、遊興飲食店)

### (イ) 客層の変化

- ・ランチタイムの分煙で女性客が増えた。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・子供連れ、家族連れが多くなった。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・新規のお客さま、若い人、女性客、ファミリー客が増えた。嬉しい誤算。(空間分煙、一般飲食店)

### (ウ) 清掃などのコスト減少

- ・客数は減少したが、エアコンも汚れないし、カウンターがタバコの火で焦げることもないので、店舗のランニングコストは軽くなった。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・灰皿清掃などの手間がかからなくなった。売り上げに影響はない。(全面禁煙、一般飲食店)

## 3. 表示したくなる禁煙マークの「デザイン」、「形状」、「サイズ」

### (ア) 希望するタイプ/サイズ

- ・貼り付けるシールは使いたくない。卓上スタンドが良い。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・何種類かあって選べるのが良い。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・入口が狭いので、最大10cm×10cmくらいのシール状で、タバコの絵に×だけのシンプルなものが良い。(全面禁煙、一般飲食店)

### (イ) 希望するデザイン

- ・東京都で配布しているようなシンプルな絵のもの。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・柔らかいイメージのものが良い。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・よくあるタバコの絵の下に分煙の時間が書けるものが良い。(時間分煙、一般飲食店)

### (ウ) その他

- ・外国人の方も多いので英語表記も入っていたほうが良い。(時間分煙、遊興飲食店)
- ・英語、中国語の表記がされていると良い。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・グローバルデザインで共通の標識のようなものであれば、一目でわかって良い。(全面禁煙、一般飲食店)

#### 4. 法律や条例による一律の規制についての意見

##### (ア) 一律の規制はしてほしくない

- ・分煙出来ない小さなお店はどうすればよいのか。(空間分煙、一般飲食店)
- ・業種によっては、お酒が主の店舗にとっては売上げが落ちてしまう恐れがある。業種によると思うので一律にというのは難しいと思う。(時間分煙、遊興飲食店)
- ・お店を選択するのはお客さまなので、現状はお店の自主規制に任せるしかないように思える。(時間分煙、一般飲食店)
- ・「全席禁煙席」といった要求になってくれば、反対に分煙を止める(禁煙席をなくす)、という選択を取らざるを得ない。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・喫煙自体が法律違反ではないのだから、法律や条例で規制するべきではない。(時間分煙、一般飲食店)
- ・夜だけの営業なので法律を厳しくすると売上げに影響が出ると思う。(空間分煙、遊興飲食店)

##### (イ) 一律の規制がある方が良い

- ・条例による規制ならばお客さまへ説明しやすい。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・一律に規制をすれば、悩んでいる店舗の背中を押せるのではないか？(全面禁煙、一般飲食店)
- ・年配や家族連れが多いので、一律の規制がされても問題はない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・タバコを吸える居酒屋に連れてこられる子供がかわいそうで、いつも気になっている。(全面禁煙、遊興飲食店)
- ・規制してくれたら全面禁煙にできるので、喫煙のお客さまに理解してもらいやすくなる。(空間・時間分煙、遊興飲食店)
- ・「飲食店は全面禁煙」とでも法律が出来れば、いちいち「禁煙です」という必要がなくなって良いと思う。(時間分煙、一般飲食店)

##### (ウ) その他

- ・条例はあったほうが良いと思うが、古い店舗やテナントは設備面、経済面で難しいため、補助金などを考慮してほしい。(時間分煙、一般飲食店)

#### 5. 未成年従業員への受動喫煙防止対策

##### (ア) 配慮、対策はしている

- ・従業員の喫煙者は未成年従業員の職場と離れた場所で喫煙させている(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・従業員で喫煙者はいるが、控室ではなるべく吸わないようにし、営業時間外では玄関先の喫煙所で吸うようにしている。(空間分煙、一般飲食店)
- ・ビル共用の壁できっちり区切られた喫煙スペースがあるので、喫煙したい場合は、その喫煙スペースで吸うようにしている。(時間分煙、遊興飲食店)
- ・従業員は、店内禁煙としている。(空間分煙、遊興飲食店)

- ・18歳の高卒の新入社員がいる。未成年も含めた、従業員への受動喫煙防止対策としては、3階に従業員の休憩室があるのだが、喫煙者には部屋では吸わず、3階のベランダにテーブルと灰皿を用意してあるので、そこで吸ってもらっている。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・従業員の喫煙者は控え室では吸わない。従業員スペースの裏に、喫煙する場所がありそちらで吸っている。アルバイトとして未成年従業員がいる場合があるが、受動喫煙は防止されている。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・以前雇っていた。控え室は禁煙。働く上で、喫煙室への出入りはあった。(空間・時間分煙、一般飲食店)

(イ) 特に配慮、対策はしていない

- ・喫煙スペースへの出入りなど、特に配慮はしていない。(空間分煙、一般飲食店)
- ・未成年従業員もいるが、全店禁煙なので、心配しておらず、特に何もしていない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・未成年の従業員はいない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・未成年のバイトの子はいますが調理場で働いてもらっているので、直接的にたばこの煙の害は影響ないと思うので特に配慮はしていません。(時間分煙、一般飲食店)
- ・未成年者はいないし、今後も雇うかわからないので対策は考えていない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・ホールでは受動喫煙防止対策は無理。出来ないと思います。(空間分煙、一般飲食店)
- ・大学生を雇うことはあるが、対策は行っていない。(時間分煙、遊興飲食店)



## 6. 外国人のお客さまに対する受動喫煙防止対策の取組

### (ア) 取り組みをしている・苦労している

- ・外国人はの多くは非喫煙者なので、少しずつではあるが、全面禁煙に向けて、喫煙者に協力を呼び掛けて、啓蒙している。(空間分煙、遊興飲食店)
- ・禁煙を説明するものの、まったく耳に入らないのか、無視して平気な顔で吸われていると、こちらもう何も言えなくなり、一度言って聞かなければ見て見ぬふりをしている。(空間・時間分煙、一般飲食店)

### (イ) 取り組みはしていない・苦労したことはない

- ・問題は出ていないが、今後の展開としては、ステッカーやプレートの表示に英語表記も加えてもいいかも知れないと思う。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・外国人で喫煙する人は少ない。現行で、対応に苦労したことはない。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・外国人には現状の禁煙マークのシールで十分に対応できている。困ったことはない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・分煙の説明、お席へのご案内くらいは外国人にも通じるので心配していない。(空間分煙、一般飲食店)
- ・外国人は近くの方が多く、午後1時以降は喫煙ということは分かっているので、外国人だからといって、何か苦労したということはない。(時間分煙、遊興飲食店)
- ・外国人のお客さまは、日本語が分かる方や日本人と一緒に来る方がほとんどなので、外国語のメニューは用意してあるが、煙草のことにに関して聞かれたことは今までにない。(空間・時間分煙、一般飲食店)
- ・苦労したことはない。もし、外国人が来て、たばこを吸おうとしたら、NO SMOKING と直接いう。(時間分煙、一般飲食店)
- ・外国のお客さまのマナーもいいので、口頭で注意をするとやめていただける。特にトラブルもない。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・接待客の中に中国人も多いが、予約時や入店時の確認だけで、禁煙表示はなくともトラブルはない。(空間分煙、一般飲食店)
- ・現在の禁煙マーク等の表示で対応できている。吸いそうになったらノースモーキングと言えば通じる。(全面禁煙、一般飲食店)
- ・外国人、ドイツ人、フランス人、インド人の客は来るけど、誰一人とたばこを吸う人がいないので、取組は考えていない。(時間分煙、一般飲食店)

## (2) 受動喫煙防止対策非実施店舗

### 1. 禁煙・分煙の対策を実施しない理由

#### (ア) お客さまの属性/売り上げの減少が不安

- ・タバコを吸うお客さまが圧倒的に多い状況で、対策を講じるのは無理。(遊興飲食店)
- ・お客さまグループの半数は喫煙者なので分煙は難しい。(遊興飲食店)
- ・お客さまはタバコが吸える店とわかってきているので、禁煙・分煙対策は即売り上げにかかわる。(遊興飲食店)
- ・喫煙のお客さまを失うのは嫌なので分煙は検討している。(一般飲食店)
- ・お酒を飲む店なので、喫煙できないとお客が来ない。(遊興飲食店)
- ・家族から離れて自分の時間を過ごす大人の店なので。(遊興飲食店)

#### (イ) 店舗の広さなど物理的な要件

- ・分煙できるようなスペースがない。(遊興飲食店)
- ・賃貸なので制約と構造から間仕切りできない。(遊興飲食店)
- ・狭いので分煙は難しい。(遊興飲食店)
- ・狭いので、「対策していない」というより「対策出来ない」。(遊興飲食店)
- ・カウンターのみ店舗なので対策は難しい。(遊興飲食店)
- ・30㎡に満たない店舗で29席なので、構造上、分煙が難しい。(一般飲食店)

#### (ウ) 店舗/経営者の方針

- ・経営者が喫煙者なので、喫煙できる店として続けていきたい。(遊興飲食店)
- ・お客さまの要望もあり、タバコの吸える店として営業していきたい。(遊興飲食店)
- ・お客さまにはホッと時間を過ごしてほしい。(遊興飲食店)
- ・当店は「気軽にタバコを吸えてお酒も飲める」を売り物にしている。(遊興飲食店)

### 2. 今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

#### (ア) 経済的な援助

- ・焼肉屋さんにあるような煙を吸い込む装置に対して国が補助金を出してくれたら考えたい。(遊興飲食店)
- ・補助金で壁を作れたら。(一般飲食店)

#### (イ) 法律による規制

- ・法律や条例で決まった場合は対策を取らざるを得ない。(遊興飲食店)
- ・規制によって全飲食店が対策を取るようになれば客が他店に流れる心配もない。(一般飲食店)

### (ウ) その他

- ・どんなことがあっても対策は講じない。(一般飲食店)
- ・店が狭くて対策は不可能なので、分煙、禁煙をしなければならなくなったらお店を閉める。(遊興飲食店)
- ・一体、何の誰のための対策なのかわからない。(一般飲食店)
- ・全く考えもしないし対策もしない。(遊興飲食店)

## 3. 法律や法令による一律の規制についての意見

### (ア) 一律の規制はしてほしくない

- ・タバコが吸える店ということで来ているお客さまがほとんどなので、店内全席禁煙ということになると商売の存続にかかわってくる。(遊興飲食店)
- ・タバコを吸わない自分から見てもちょっと厳しくて早急すぎる。(遊興飲食店)
- ・法律などで喫煙者を縛り付けるのではなく、個人の自由、マナーの向上で対応できる。(遊興飲食店)
- ・規制で禁煙にしたら小さな店なのですぐつぶれてしまう。(遊興飲食店)
- ・水商売に規制がつくと、お客さまが楽しめなくなる。(遊興飲食店)
- ・禁煙を法律で決めるなら、タバコの販売を中止したらどうか。(一般飲食店)
- ・自分は副流煙を吸っている立場だが、お客さまのためには規制してほしくない。(一般飲食店)

### (イ) 一律の規制がある方がよい

- ・喫煙者に対策の理解を得ることもできる。(一般飲食店)
- ・一律に規制されて全飲食店が対策を取れば、喫煙を希望するお客も納得するし、喫煙可能な他店にお客が流れる心配もない。(一般飲食店)
- ・法律で決まったのなら考えなくもない。(遊興飲食店)
- ・理解はしているが、店舗の構造上、規制されると対応できない。(一般飲食店)

## 4. お客さまの反応・要望・苦情

### (ア) 喫煙者のお客さま

- ・家では吸えないが、ここに来ると吸えるのでホッとするという方が男女ともにいる。(遊興飲食店)
- ・家族連れも来るが、大人の対応をしてもらっているのでトラブルはない。(一般飲食店)

### (イ) 非喫煙者のお客さま

- ・タバコを吸える店とわかって来店しているから苦情はない。(遊興飲食店)
- ・家族連れなどから煙の影響の少ない席を希望されることはある。(遊興飲食店)
- ・禁煙席をご希望の場合は個室を案内している。(遊興飲食店)
- ・2か月に1回程度「禁煙席はないのか」という要望がある。(遊興飲食店)
- ・「上着にタバコの臭いがつく」、というお客さまはいる。(遊興飲食店)

- ・非喫煙者からは「禁煙にすればよいのに」と言われることはある。(遊興飲食店)
- ・吸っているお客さまがいたので帰られた方がいた。(遊興飲食店)
- ・曜日を決めて禁煙日を設けてほしいとの要望があった。(遊興飲食店)

## 5. 禁煙店舗が増えていることによるお店への影響

### (ア) 変化なし

- ・常連の方が多くのお客さまの増減は感じない。(遊興飲食店)
- ・禁煙の店からこちらの店舗へ喫煙者が流れてくるということもない。(遊興飲食店)
- ・喫煙の確認をされるお客さまは増えたが、客数は変わらない。(遊興飲食店)
- ・ここなら吸えるというお客さまもいる。(遊興飲食店)

### (イ) 変化あり

- ・一人で来る女性の喫煙者も増えている。リピーターも増えている。(遊興飲食店)
- ・この店はタバコが吸えるということでお客が増えた。

### (ウ) その他

- ・禁煙店舗が増えているからこそ、タバコを吸える店舗を提供したいと思っている。(遊興飲食店)
- ・常連の会話で「近所にできた店は店内禁煙で不便」と聞いたことがある。(遊興飲食店)

## 6. 未成年従業員がいる場合、(過去にいた場合)、具体的な未成年従業員への受動喫煙防止対策

### (ア) 配慮、対策はしている

- ・未成年も含めた従業員への受動喫煙防止としては、特に何か行っているといったことはない。ただ、未成年には、喫煙者が周りにいることで、それが煙草への誘惑剤にならない様に、煙草を吸う人間は、煙草のケース(箱)を何処にでも置かないで、きちんと自分で管理する様に伝えている。(遊興飲食店)

### (イ) 特に配慮、対策はしていない

- ・高校生のアルバイトもいるが、対策は一切していない。全席喫煙可能な居酒屋のため、接客担当の未成年者は、受動喫煙しているのが現状。(遊興飲食店)
- ・更衣室は禁煙。店は換気扇で換気をしていることで、特に対策はしていない。(一般飲食店)
- ・未成年の従業員はいない。これからも雇うつもりはない。(遊興飲食店)
- ・未成年従業員は今までに雇ったことはない。(遊興飲食店)
- ・未成年の従業員はいませんので対策は行っていませんし今後もいたしません。(遊興飲食店)
- ・現在はいないが、大学生を雇うことはある。対策はしていない。(一般飲食店)

## 7. 外国人のお客さまに対する受動喫煙防止対策の取組

### (ア) 取り組みをしている・苦労している

- ・外国人は多い。とりあえず葉巻だけは、店内で吸うのをひかえてもらっている。(一般飲食店)

### (イ) 取り組みをしていない・苦労していない

- ・外国人の多くは観光客(英語圏だけでなく、中国人もいる)で、喫煙者の割合は低い。店内での喫煙に対する問い合わせやクレームは、全くない。(一般飲食店)
- ・日本で仕事をしていたり、長く住んでいて日本の文化に馴染んでいる人が多いために、特別な対応を必要と感じたことはない。(遊興飲食店)
- ・外国人だからといって特別何か対応するといったことはしていない。(遊興飲食店)
- ・外国人のお客さま自体はあまり多くないので、何の対応もとっていない。(遊興飲食店)
- ・日本に住んでいる人以外は来ないので他の日本人のお客さんと同じ対応。(遊興飲食店)
- ・外国人の方が来ても英語が話せるから特別な対応は考えてない。日本の方が禁煙に関しては外国より規制が甘いから、外国人の方がまったりゆっくり美味しそうにたばこを吸っている。(遊興飲食店)
- ・近所の外国人の方がお見えになるが、その方々は吸わない。だが、特に苦情はない。観光客は特に来ない。(遊興飲食店)

## 4 参考事例

### (4-1) 参考事例 《禁煙対策実施店舗》

#### 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 日本料理店・自営店
- ◆主な提供物: ふぐ料理、日本酒
- ◆受動喫煙対策: 空間・時間分煙
- ◆店舗の状況: テナントビル / 70席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内

#### 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・駅前に5~6年前にヨドバシカメラができて、レストラン街が全面禁煙で営業を始めたので。
- ・全面禁煙でやってみたら、客が減少してしまったためにランチタイム限定で空間分煙をすることにした。
- ・受動喫煙防止対策の取り組みに関しては、特に相談せず、自営業者として決断した。

#### 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年従業員はいるが、調理場で洗い物を担当しているので店内で受動喫煙することはない。
- ・15人いる従業員中2人の喫煙者はいるが、調理場の隅で洗い場から離れた場所に、灰皿があって、休憩時間に喫煙している。

#### 4. 外国人利用客への対応

- ・観光客や接待されて来店する外国人がいる。喫煙する人は少ない。現行で、対応に苦労したことはない。

#### 5. 対策を実施したことによる影響等

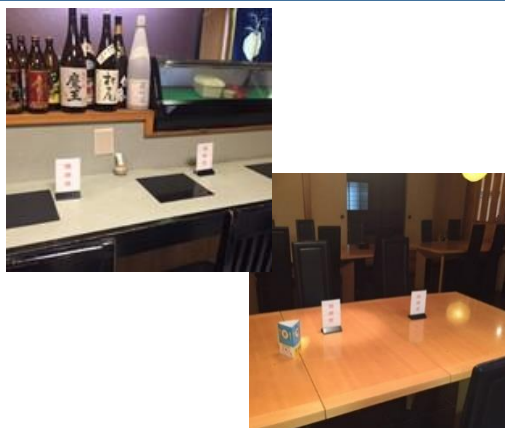
- ・ランチタイムに分煙したことで女性客が増え、喫煙者からも非喫煙者からも喜ばれた。
- ・禁煙席を希望される女性客が増えた。
- ・売り上げは全面禁煙実施を試みる前に戻った。

#### 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・規制はしてほしい。

#### 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・お客さまに喫煙者も多く、以前完全禁煙にしたら売り上げが減った経験がある。
- ・完全分煙するにはお店の構造上、対応は難しい。



ランチタイムはテーブル席とカウンターに自作の「禁煙席」POPを設置して分煙。



夜は喫煙席を設けないが、希望者には入り口付近の灰皿を使用してもらう。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 日本料理店・自営店
- ◆主な提供物: うなぎ料理、日本酒
- ◆受動喫煙対策: 空間・時間分煙
- ◆店舗の状況: 一軒家／100席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・お客さんの要望から。今から5～6年前に取組を行った。
- ・昼の11時から14時まで1階のみ全面禁煙。組合の方からも、分煙の取組を進める話が来ていた。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年はいない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・特にない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・変化は特にない。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・法律で厳しい規制はしてほしくない。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・組合や東京都から、喫煙室をつくると、補助金が出るということは聞いたことがあるが、補助金をもらって喫煙室を作った場合、他は禁煙になるので、宴会時にも喫煙は禁止になってしまうらしい。そうすると、こういった飲むお客が来る飲食店は無理。実施した店の人の感想が聞きたい。東京都の方で実例を教えてください。

	
<p>店内にランチタイム禁煙のポスターを貼っている。</p>	<p>1階の禁煙席で食事して喫煙したい人がいる場合、店舗内に置いてある灰皿を店の外に持って行き、吸ってもらっている。</p>

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 日本料理店・自営店
- ◆主な提供物: 天ぷら料理、日本酒
- ◆受動喫煙対策: 全面禁煙
- ◆店舗の状況: 一軒家／19席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・7～8年前に全面禁煙とした。
- ・港区の条例、喫煙に配慮する近隣の商店街への付き合いもあり、世の中の風潮から全席禁煙を決めた。
- ・経営者本人が、禁煙したこともきっかけとなった。お客さまには、料理の味や香りを楽しんでもらいたい。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年はいない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・現状の禁煙マークのシールで十分に対応できている。困ったことはない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・天井に設置してある空調の清掃回数が減って、コストカットできた。
- ・お客さまの回転率が上がった。夜のお客さままでお酒を飲む人が減って客単価は減ったが、想定の範囲内。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・喫煙は個人の嗜好の問題なので、法で規制は、してほしくない。
- ・条例による規制は、全面禁煙の説明をしやすいし、お客さまにも納得していただける。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・東京都から配布されているステッカーを店頭に掲げる予定。





## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 日本料理店・自営店
- ◆主な提供物: おでん、日本酒
- ◆受動喫煙対策: 空間分煙
- ◆店舗の状況: 一軒家／90席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内外

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・カウンターのお客さま、女性、お子様連れのお客さまから、禁煙席の要望が高まった。
- ・H24年4月から、第1段階として、カウンター10席を禁煙席とした。
- ・半年後、ガラス戸で締め切った小部屋を分煙とする禁煙席を設けた。喫煙可の席は60席あり。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・アルバイトで未成年者が一人いるが、喫煙可の部屋の出入りはしている。
- ・従業員で喫煙者はいるが、控室ではなるべく吸わないようにし、営業時間外では玄関先の喫煙所で吸うようにしている。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・お客さまは日本人と一緒になので特にトラブルはない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・カウンターでたばこを吸っていたお客さまがなくなり、売上が減った。
- ・吸わないお客さまが倍ぐらいに増え、徐々に元の売上に戻ってきた。若い人が増えた。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・規制をしても特に問題はないと思うが、
- ・一律の規制をすると、分煙できないような小さいお店は経営が成り立たなくなるから規制は難しいと思う。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・広いお店であるならば対策をした方が、一時売上は減るが、お店を気に入ってくれるお客さまが戻ってきてくれると思うので実施した方が、良い結果になると思う。
- ・費用がかかるので、変更する為の助成金制度があるとよい。

	
カウンターは全面禁煙。	ガラス戸で締め切った小部屋を分煙とする禁煙席(20席)。組合と東京都からのステッカーを使用。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 日本料理店・チェーン店
- ◆主な提供物: 瀬戸内料理、日本酒
- ◆受動喫煙対策: 空間・時間分煙
- ◆店舗の状況: テナントビル／60席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内外

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

•きっかけは、国の法律や条例云々ということはあまり関係なく、煙草を吸う男性のお客さまが少なくなったから。

## 3. 未成年従業員への対応

•従業員は現在約20名おり、店内は禁煙としているが、伊勢丹会館の地下に煙草を吸うスペースがあるので、煙草を吸いたい人は、休憩時間等に地下に行って煙草を吸う様にしている。

## 4. 外国人利用客への対応

•今までに、外国のお客さまに関して、受動喫煙防止対策の内容で苦労したといったことはない。通常のお客さまと同じ対応で、問題は出ていないが、今後の展開としては、ステッカーやプレートの表示に英語表記も加えてもいいかも知れないと思う。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- 売り上げは受動喫煙防止対策のみでは何とも言えない、
- 以前に比べると、煙草を吸わなくなった男性のお客さまが増えていると思う。
- 全体の回転率・客層自体は変わらない。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

•分煙でも、禁煙席に煙が絶対にもれてはならないとか、全席禁煙席にするなどの条例になってくれば、反対に分煙を止める(禁煙席をなくす)という選択をとらざるをえない。

•業種によっても状況は違うと思うが、一律の規制をしてしまうと店の売上に関わるので難しいと思う。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

•今後の展開としては、外国人向けにステッカーやプレートの表示に英語表記も加えてもいいかもしれないと思う。

	
<p>店頭の壁には、禁煙席と喫煙席を設けているというB5サイズ位の分煙のステッカーをはってある。</p>	<p>禁煙席には手の平サイズ位のプラスチックの禁煙マークのプレートを柱の上2か所に配置。(写真①) 隣に別館として個室だけの部屋があり、そこは全席喫煙としている。別館の入り口にも柱に喫煙マークのステッカーをはっている(写真②)</p>

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: バー、スナック・自営店
- ◆主な提供物: カラオケ、酒
- ◆受動喫煙対策: 空間分煙
- ◆店舗の状況: テナントビル / 15席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・元々、自分は喫煙が大きらいであったが、カラオケスナックでは無理かと思っていた。
- ・常連さんの中で、お二人気管支炎の方がおり、タバコの煙で咳き込むので、強制はしないながらも、なるべく店内は禁煙で行こうと決めた。
- ・最終的に全席禁煙を目指そうと思っている。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・従業員は、店内禁煙としている。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・近くにホテル・ウイング(元 JAL City ホテル)があるので、ドイツ人とか白人系の外国人が時々来る。外国人の多くは非喫煙者で、喫煙する人がいても文句は言わないが、煙を避けるように座ったりして、自己防衛しているように見受けられる。そういうお客さまのためにも、少しずつではあるが、全面禁煙に向けて、喫煙者に嫌味を言い続けて、啓蒙している。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・お客さまが喫煙可能な他店に流れることも十分考えられた。心配はしたが、特に変化はない。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・一律の規制は必要だと思っている。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・難しい。お客を失いたくないから。お酒とタバコは付き物。自分の店では、焦らず、少しずつ、常連さんにはご自身の健康のためにタバコをやめる方向に向かってもらおうとしている。



飲食業組合のステッカー。喫煙、禁煙はあくまでお客さまの意思に任せている。



店内奥に空気清浄機を設置している。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 一般食堂、チェーン店
- ◆主な提供物: 定食
- ◆受動喫煙対策: 全面禁煙
- ◆店舗の状況: テナントビル / 69席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・今は全面禁煙だが、昔は分煙していた。10年以上前に全面禁煙した。本部が決めた。
- ・理由は分煙しても喫煙のところから煙が流れて来たこと。お客から苦情もあった。
- ・健康志向の食事の内容なのに、何故、全面禁煙にしないのか、と言われた。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年の従業員はいない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・タバコに関しての問題はない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・全面禁煙実施直後は、売り上げが若干落ちた。
- ・しかし、だんだん、前と同じくらいまでに盛り返してきた。
- ・客層は変化があった。子供連れ、家族連れが多くなった。客単価は変わらない。回転率は上がった。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・歩きタバコは良くない。吸っても良い場所以外で、吸って歩くのには、厳しく罰してほしい。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・定食屋のような食事をするところは、全面禁煙を薦める。食事をするところなのに、タバコの煙でおいが店自体や、食事についてしまうので、お客さんにも迷惑になると思う。壁も煙で黄色くなるので、清潔感がなくなる。そういうことをアドバイスしたい。



## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: 西洋料理店・自営店
- ◆主な提供物: ハンバーグ
- ◆受動喫煙対策: 空間分煙
- ◆店舗の状況: テナントビル / 66席
- ◆禁煙等の表示: 店舗内外

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・分煙に踏み切ったのは、7~8年前かと思う。
- ・世の中が受動喫煙の悪影響への関心が高まって行くと同時に、お客さまの意識も変わってきた。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・喫煙スペースへの出入りなど、特に配慮はしていない。分煙するまでは、お客さまの目につきにくい奥まった店の隅で、賄いを食べてもらっていたが、分煙に踏み切ってから、各自お客さまの邪魔にならない範囲で好きな場所で食べるようにしてもらっている。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さまは多くなっている。メニューの英語版を作ろうかという声も上がっているくらい。
- ・ただ、分煙の説明、お席へのご案内くらいは通じるので心配していない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・タバコの吸える憩いの店だったので、分煙はとても不安だったのだが、嬉しい誤算に喜んでいる。
- ・明らかに、新規のお客さまが増えた。その中でも、若い人、女性客、ファミリーが増えた。
- ・以前は高齢、夜は喫煙する男性が多かったのだが、明らかに客層が変わり、売上も上がっている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・受動喫煙を防止することへの認知の向上や意識付けは大切だが、一律の規制については、賛成できない。
- ・店の業態も色々あり、店のあり方もそれぞれである。また、規則が多い中、これから起業する若い人のモチベーションの低下にも繋がりがかねない。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・時代の流れとして、やはり検討は必須。極端なことをすると、お客さまを失うことになるようなことになって、もったいない。当店の選んだ分煙という形は、喫煙・非喫煙どちらのお客さまも満足できて、良かったと思っている。喫煙のスペースを確保することから始めてみたらどうだろうか？

 <p>2F レストラン 禁煙36席 / 喫煙20席 3F: パーティールーム 54名様のご利用可能 営業時間 月曜～土曜日 11時～22時 / 日曜・祝日 11時～21時 年中無休 (ラストオーダー 21時半迄) (ラストオーダー 21時迄)</p>	 <p>① ③ ②</p>
1F 入口外の立て看板に「禁煙36席:喫煙20席」と分煙を表記。	店内レジ横に A4 サイズのポスター(①)。ガラス壁で禁煙スペースを区切って表記(②)。「禁煙席」は市販プレート(③)。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・チェーン店
- ◆主な提供物:洋食、ビール
- ◆受動喫煙対策:時間分煙
- ◆店舗の状況:テナントビル/54席
- ◆禁煙等の表示:店舗外

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・昼食時に煙を吸いたくないお客さまの要望を感じ、また、土、日曜日は家族連れのお客さまが増えたので、全面禁煙としている。
- ・一年前から禁煙時間を平日 14 時までから 15 時に変更した。(14 時までだと、昼食のお客さまがいるので)

## 3. 未成年従業員への対応

- ・以前雇っていた。控え室は禁煙。働く上で、喫煙室への出入りはあった。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さまのマナーは良く、特にトラブルはない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

- ・禁煙だと帰られるお客様もいらっしゃるが、団体席がとれやすくなったり、土、日曜日は禁煙なので、ご家族連れのお客様が増え、トータル的には売上は多少上がったと思う。
- ・受動喫煙防止策をして離れたお客さまもいると思うが、人通りの多い所なので新規のお客さまも増えたと思う。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・条例で規制してくれた方が全席禁煙とすることができ、喫煙のお客さまに理解してもらいやすくなる。店外で喫煙する場所も近くにあるので、席の確保などの仕事がやりやすくなる。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・全体的に禁煙店が増えてきている。対策を行って、離れるお客様もいるが、禁煙に対して抵抗のないお客さまが増えてきているので、中途半端にせずポリシーをもって行った方が、新しいお客様もつき良い結果になると思う。



## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビアホール・チェーン店
- ◆主な提供物:洋酒
- ◆受動喫煙対策:時間分煙
- ◆店舗の状況:テナントビル/60席
- ◆禁煙等の表示:店舗外

## 2. 禁煙・分煙の対策実施のきっかけや経緯

- ・ビルが禁煙の所がほとんどなので、周りの状況を考えて、10年位前に実施。
- ・平日のランチタイムの一番メインの時間帯だけは、食事を中心に楽しんで頂くことを考え、全席禁煙とした。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・現在従業員は13名、その内煙草を吸う人は3~4名いる。未成年者の従業員は過去にはいたこともあるが、今は雇っていない。
- ・従業員に対しての受動喫煙防止対策としては、このビルには中庭の様な場所に、ビル共用の壁できっちり区切られた喫煙スペースがあるので、喫煙したい場合は、その喫煙スペースで吸う様にしている。店内が喫煙時間の場合は、周りに誰もいなければ、店内で一服出来る場合もある。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さまは、1日に3~4人位来られるが、この近くの方が多く、1時から喫煙ということは分かっているので、外国人だからといって、何か苦労したということはない。

## 5. 対策を実施したことによる影響等

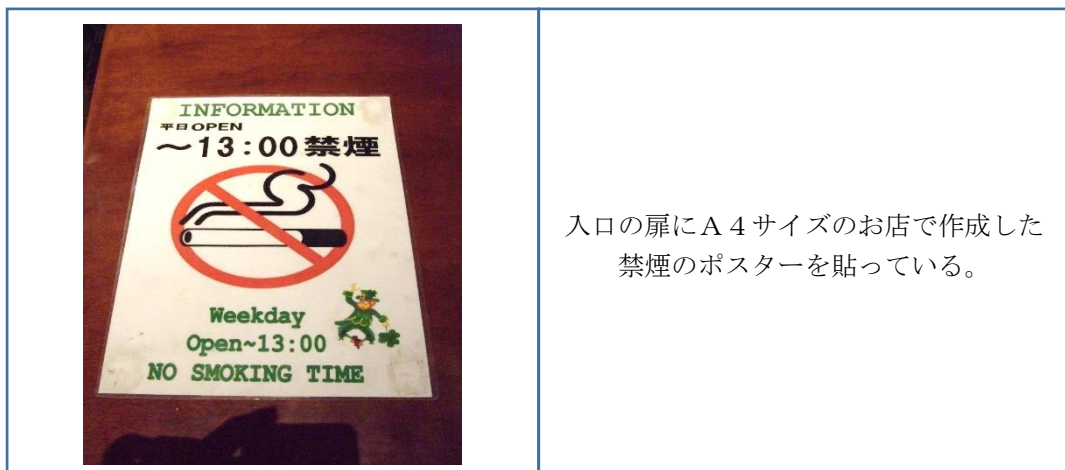
- ・客は1時まででは、6:4で女性が多い。平日の開店から1時までの禁煙時間帯は女性が多く、以前から比べると回転率が良くなっている。
- ・1時からの喫煙時間帯は、8割が男性。ランチを食べながら店内でゆっくり煙草が吸えるということで、煙草を吸いたい方は、1時過ぎを目指してお店にくるので、1時を過ぎてもお客さまの入りがよく、満席になることもある。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・すべてのお店を一律にというのは、業種による問題がある。
- ・(酒場は)煙草が店内で吸えないことで、売上が確実に落ちてしまうお店が多くあると思うので、難しいと思う。

## 7. 今後の取り組み、未実施店へのアドバイス、その他

- ・来ているお客さまの状況(喫煙者と非喫煙者の率)や、受動喫煙防止対策をすることによっての、お店の売上、分煙にするならば、お店の内装などを、良く考えてから実施した方が良いと思う。



## (4-2)参考事例 《禁煙対策非実施店舗》

### 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・チェーン店
- ◆主な提供物:串カツ・餃子
- ◆店舗の状況:テナントビル/90席

### 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・しっかりとした間仕切りができれば、店内分煙は可能かと思うが、賃貸なので改装は難しい。
- ・こちらのチェーン店はお客さまが店員を呼ぶ押しボタンが客席にないため、店員が絶えず客席を見渡せなければいけないので、妨げとなる間仕切りは設置できない。
- ・空調の位置も分煙するには、空気の流れが悪く、大幅な改装が必要で、賃貸のため経費の上でも困難。

### 3. 未成年従業員への対応

- ・高校生のアルバイトもいるが、対策は一切していない。全席喫煙可能な居酒屋のため、接客担当の未成年者は、受動喫煙しているのが現状である。

### 4. 外国人利用客への対応

- ・来店する外国人は、日本で仕事をしていたり、長く住んでいて日本の文化になじんでいる人が多いために、特別な対応を必要と感じたことはない。

### 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・来店されたお客さまから、禁煙席の要望があった場合は、店内の隅の席を案内して、可能な限り、周りにお客さまを案内しないよう、配慮している。
- ・ただ、店が混雑してきた場合は、隣にも喫煙者が座ることになることを了承いただいている。

### 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・現在、会社全体の方針として、飲食店において積極的に分煙を進めており、神奈川県内の店舗では、既に分煙対策を完了している。
- ・また、ファミリー層をターゲットとした業態においては、全席禁煙席に案内するようにしている。
- ・今後も、法律・条例に関わらず、積極的に分煙を進める予定でいる。

### 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・他店の対策から、喫煙者が来店しているのかもしれないが、お店としての影響を感じたことはない。



「喫煙可能なお店」との表示は、可能である。店の内側から貼る、シール状のステッカーではがき大の大きさと、店の雰囲気を損なわないものがあれば、表示しても良い。



## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・チェーン店
- ◆主な提供物:シーフード・洋食・酒
- ◆店舗の状況:テナントビル/122席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・グループの中に大体1人位は喫煙者が含まれている為、禁煙スペースを作ってしまうと、売上が下がってしまう為ちょっと難しい。
- ・今の所はあえて禁煙席を作らなければならないという必要性を感じない。
- ・今後考えるとしたら、時間分煙の形ならば、喫煙のお客さまにも、お食事をしている間の時間は、少し煙草を吸うのをお持ち頂くということで、納得して頂きやすいので、お店をしても、取り組みやすいかもしれない。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・現在従業員は30名弱いて、その内未成年の従業員は5名。 煙草を吸う従業員は20名位いる。
- ・営業時間は従業員は禁煙で、休憩時間のみ喫煙出来る。
- ・未成年も含めた従業員への受動喫煙防止としては、特に何か行っているといったことはない。
- ・ただ、未成年には、喫煙者が周りにいることで、それが煙草への誘惑剤にならない様に、煙草を吸う人は、煙草のケース(箱)を何処にでも置かないで、きちんと自分で管理する様に伝えている。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・回答なし。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・禁煙席の要望があった場合は、禁煙席ではないが、個室に案内すれば、ある程度対応出来る。
- ・ホームページ上で、予約時などに確認してもらえる様に、「店内喫煙」ということを記載している。
- ・煙草の煙は多少流れることを、お客さまに必ずお伝えする様に、従業員に徹底させている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・ある程度の一律の規制を作って、後は店舗に合わせた形で考えるというのが、一番良い。
- ・会社側としても法例重視で、条例で義務づけられた方が、表示物を貼るにしても、各店舗に徹底がさせやすいと思う。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・店内で喫煙出来るからということで、来ているというお客さまが結構多くいる。
- ・店外で煙草を吸いたいという方には、灰皿をお持ちして、煙草を吸ってもらっている。

### <店頭表示物の現状と期待>

今後店頭で「喫煙可能」と表示するとした場合、自分の考えとしては、外国人の方でも見て解る、絵と文字を使った、統一性のある解りやすい物で、絵は煙草の絵に×か○、分煙ならば半分ずつに表示されているものが良い。

文字は「喫煙可」、「禁煙」で外国の方も解る様に英語表記と、今は日本に来ている中国や韓国の方がすごく多いので、中国語、出来れば韓国語もあったらなお良いと思う。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:小料理店・自営店
- ◆主な提供物:魚料理・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/16席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

・焼肉屋さんにある様な、テーブルの上から直接煙を吸い込んでくれて、店内の空気をクリアに出来る様な機械を、国が補助金を出して安く提供してくれるなら。煙草を吸う人、吸わない人の受動喫煙防止のラインもクリアになるので、考えてみようという気になれると思う。

## 3. 未成年従業員への対応

・今までに、未成年の従業員をやとったことはない。現在従業員は6人、全員が喫煙者であるが、勤務時間中は禁煙にしているので、休憩時間などに吸っている。

## 4. 外国人利用客への対応

・このお店は飛行機内の冊子とかに載っているので、外国人のお客さまもすごく多いが、とりあえず葉巻だけは、店内で吸うのをひかえてもらっている。  
・対応としては日本人とまったく変わらない対応で、問題はない。今はインターネットなどで事前に調べることが出来るので、皆さん事前にいろいろ調べて来ていらっしゃるので、あまり問題は出てないのだと思う。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

・禁煙者や土曜日などに小さいお子さんを連れてきたお客さまなどは、一番入口に近いテーブルやカウンター席に、なおかつ換気扇が一番近い席にすわってもらう様にしている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

・煙草が吸えるお店ということで来ているお客さまがほとんどなので、(規制で)店内全席禁煙という形にすると、即商売の存続にかかってきてしまう為難しい。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

・昔からお店をしていて、常連の方が多いので、お客さまの増減というのは感じないが、煙草を吸えない場所が増えてきていることで、喫煙者は肩身が狭いなどの話はよく聞く。

### <店頭表示物の現状と期待>

現在は何も店頭に表示していない。もし都の方などで受動喫煙防止などの表示物を作るとしたら、あまり大きくないB5サイズ位のステッカーで、外国人にもなじみのある有名なキャラクターを起用すれば、一番分かりやすいと思う。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・自営店
- ◆主な提供物:もつ焼き・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/10席未満

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・2台の換気扇を回しているし、一番端の左右の扉を開ければ、空気が流れて煙が外に流せるので、受動喫煙の心配は、ほとんどない。
- ・サンマを焼いたりする方の煙の方がよっぽどすごいので、受動喫煙に関しては、それほど問題ない。
- ・状況が変わらなければ、今のままでとりあえずは行くつもりでいる。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・従業員4人のうち、母親以外3人(自分・父親・夫)は喫煙者である。未成年者を雇ったことは一度もない。
- ・母親は吸わなかったが、もつ焼き屋をしている時は、煙草の煙よりも、焼き物を焼いている煙の方がすごかったし、焼き台の上に煙を吸う大きな換気扇があったので、煙草の煙はまったく気にならなかった。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さまは、たまに来ることはあるが、外国人の方だからといって特別に何か対応しているといったことはない。何か聞かれたり言われたりしたこともないし、日本人と同じ扱いである。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・換気扇を2台稼働させているし、煙草の煙がどうしても苦手というお客さまがいた場合は、厨房の裏にもカウンターがあって、そこだとあまり煙が来ない為、そちらに座ってもらう様にしている。夏場は、扉を開けっ放し。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・1日に何十本も吸って、周りに煙をまき散らす様な方と、一日の仕事が終わった後、お酒を飲みながら1、2本煙草を吸って、ほっと一息つく方達とをひとくりにするのはどうか。
- ・受動喫煙防止対策を進める前に、まず路上での歩き煙草やポイ捨てなど、喫煙マナーを徹底させるべき。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・昔からの客が結構多いので、喫煙出来る云々という意味でのお客さまの増はそんなに感じない。
- ・女性のお客さまの中には、他で煙草が吸えないが、ここでは吸えるので良いという方もいたりする。



現在、店内に「喫煙出来ます」のステッカーを貼っている。今後店頭に表示するとしたら、ハガキかB5サイズ位のシールみたいな物が良い。絵柄は文字ではなく、煙草から煙が出ている様な、煙草そのままの物が見やすいと思う。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・自営店
- ◆主な提供物:焼き鳥・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/20~29席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・お店自体そんなに広くないので分煙できるスペースがない。
- ・お客さまは、仕事を終えた後、食事をしながら、お酒を飲んで煙草を吸って、リラックスしたいというのを求めて来ていらっしゃるの喫煙者の方に店内禁煙をいう形は、今の所はとりたくないと思っている。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・過去も現在も、未成年の従業員を雇ったことはない。
- ・現在従業員は4人。その中で煙草を吸う人間は3人いる。従業員は店内で自由に煙草が吸える環境である。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さま自体はあまり多くないので、何の対応もとっていないが、今は昔に比べると、ネットなどで何でも自分で調べられる時代なので、あえて外国人のお客さまにという対応はしなくても問題ないと思う。
- ・もし何か対応をということであれば、喫煙・禁煙のマークを統一して、あらかじめそのマークの存在をアピールし、各お店にそれを貼り出して置けば、外国人のお客さまにも認識してもらえ、分かりやすいと思う。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・煙草を吸わないお客さまは、なるべく窓側の煙草の煙が行かない様な席に案内するか、席に余裕があれば、煙草を吸っているお客さまの隣のテーブルに座らせないように心がけている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・営利目的でやっている通常の飲食店は、一律の規制をかけてしまうと、そく売上に響き、お店の存続にかかわってしまうと思うので、難しいと思う。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・このエリアは、受動喫煙防止に対して、まだそれ程規制が厳しくないの、お客さまの増減というのはまったくない。



お店の入口に「喫煙出来ます」というシールを貼って、喫煙可能である事をお客さまに分かるようにしている。

今後もし都の方などで作るとするならば、店の入口に、雨でもはがれない様な金物みたいな丈夫なプレートを、住所表記みたいに各お店に貼ったら良いと思う。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:焼肉店・自営店
- ◆主な提供物:焼き肉・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/10~19席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・各テーブル壁面に換気扇があり換気があるので、受動喫煙防止対策をする予定はない。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・更衣室は禁煙。店は換気扇にて換気をしていることで、特に対策はしていない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・以前よりは増えてきていると思うが特別に対応はしていない。トラブルはない。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

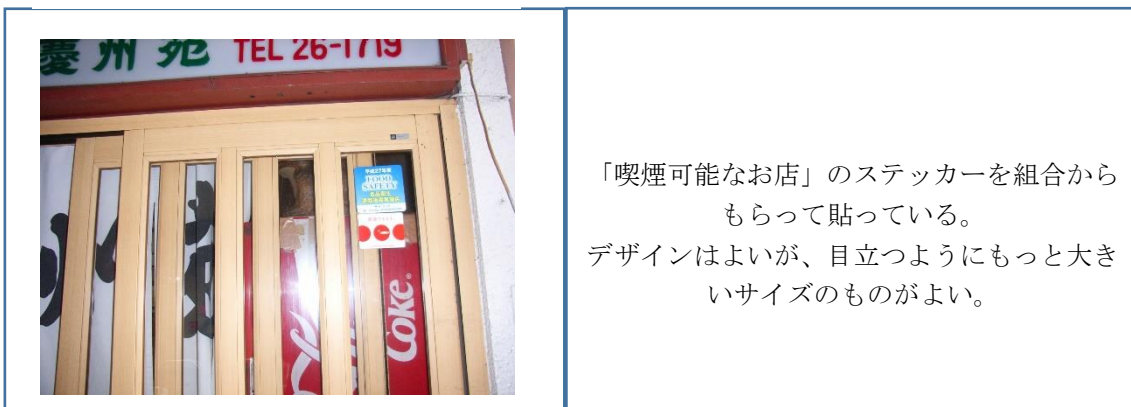
- ・たばこを吸うことはお客さまの自由なので、お店側から指示することはできないと思う。
- ・禁煙者の方からのクレームはないので、特に配慮はしていない。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・規制については反対。お客さまの喫煙は個人の自由で楽しんでいるので、規制はなくてよいと思う。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・お客さまの変化は特になし。喫煙できるお店として3カ月前から、表にステッカーを貼ったが、小さいステッカーのためか特に変化なし。



## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・自営店
- ◆主な提供物:日本料理・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/10~19席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・経営者が喫煙者なので喫煙できる店として続けていきたいと思っている。
- ・喫煙者のうちの少数の人のマナーが悪いために喫煙者全体が迷惑している。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年の従業員はいない。これからも雇うつもりはない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さんは、日本に住んでいる人以外は来ないので他の日本人のお客さんと同じ対応。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・初めてのお客さんにはタバコの煙が流れない奥の席を勧めている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・国でタバコを売っているのに、タバコを吸えないようにするのはおかしい。
- ・この店でタバコを吸えなくなったら、やっていけなくなってしまうので、店を閉める。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・ない。たまに近所の他の喫煙可の店にいた人が、隣の席の禁煙者に嫌な顔をされたり、気を遣ったりして、ちよっとこちらで吸わせてほしい、という人が来ることもある。



もう少し大きなもので、貼ることもぶら下げ  
ることもできるタイプのものもいい。  
雨にぬれてもいいように、プラスチック製が  
いい。ハガキくらいの大きさと、見て一目瞭  
然のもの。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:酒場、ビヤホール・自営店
- ◆主な提供物:餃子など・酒
- ◆店舗の状況:一軒家/10~19席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・どのような条件でも、受動喫煙防止対策を講じるつもりはない。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年従業員はいない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・特別なことは何もしない。時々来る欧米人はタバコを吸わないが、特に気にすることもなく、食べて飲んでいってくれる。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・ほとんどのお客さまは、マナーを守って人に迷惑をかけないように配慮して喫煙してくださっているが、稀に横柄な態度でタバコを吸っている人がいる場合、席を替わるように案内したり、注意したりする。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・法律や条例による一律の規制は作って欲しくない。規制ばかりしては、喫煙をしたい人たちの行く場所がなくなってしまう。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・全面禁煙の店が増えており、また路上喫煙禁止の地域が厳しくなっているからこそ、タバコを吸える店を提供したい。
- ・タバコを吸いたい人は吸い、食べて飲んでくつろげる場所も必要だと考える。
- ・他社の対策から、喫煙者が増えているということは、特にない。



今、店に貼っているステッカーは、飲食店組合から頂いたもの。

はがき大~A5くらいで、遠くから見てもパッと見て、わかるデザインが好ましい。イラストの上に、「全席喫煙できます」、イラストの下に、「マナーを守って喫煙しましょう」などと、マナーのことにも触れた言葉も一言添えて欲しい。

## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態:バー・スナック・自営店
- ◆主な提供物:和食、割烹・酒
- ◆店舗の状況:テナントビル／28席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・お客さまの要望もあり、煙草を吸える店として営業していきたいため、今後も対策をする予定はない。
- ・店の構造上、費用までかけて分煙等の対策を講じることはできないし、するつもりもない。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・未成年者はいない。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・近くに日本語学校があるために、外国人のお客さまは多い。アジア系も欧米の人もいるが、皆日本語を勉強しているので、日本語は理解している。喫煙者は半分くらいだが、喫煙可能な店内に違和感を持つ人はいない。喫煙可能というような表示の必要性を感じたことはない。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・空気清浄器を一つ、置いてある。(家庭用のもの)
- ・非喫煙者が希望されれば、空気清浄器の前のテーブルに案内している。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・規制はしてほしくない。店内禁煙ともなれば、当店では、死活問題で存続の危機となる。自営で行っているので、喫煙できるお店として展開する自由を認めてほしい。受動喫煙防止対策の取り組み自体、進めてほしくない。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・来客数とかに影響はないが、常連客の会話の中で「近所にできた A 店は、店内禁煙で喫煙場所でなければ吸えなくて面倒だ」とか、耳にすることはある。



「喫煙可」ということであれば、表示しても良い。添付した店頭の写真にあるようなワイファイ（a u 等）のシールの大きさなら貼っても良い。

ガラスに店内から貼る表が接着面のもの。喫煙できることがわかるデザインであれば、こだわらない。



## 1. 店舗の概要

- ◆業種・経営形態: バー・スナック・自営店
- ◆主な提供物: カラオケ・酒
- ◆店舗の状況: テナントビル / 9席

## 2. 禁煙対策しない理由/今後、受動喫煙防止対策を検討する条件

- ・お店の規模が小さいので、分煙するのは難しい。
- ・煙草が吸えるお店と分かってお客さまは来ているので、全席禁煙はお客さまをなくすことになってしまい、即売上に関わってしまう為無理。
- ・今後一般化されてきて、喫煙者の方の中にも認識されてくる様であれば、受動喫煙防止対策も考える余地が出てくると思う。

## 3. 未成年従業員への対応

- ・過去も現在も、未成年の従業員を雇ったことはない。
- ・営業は自分1人でだけでやっている。自分自身は煙草を吸わないので、たまに煙草の煙で喉がイガイガすることがあるので、その時は少しドアを開けて、空気を外に逃がす様にしている。

## 4. 外国人利用客への対応

- ・外国人のお客さまは、たまに連れられてくる方はいるが、個人的に来るお客さまはほぼいないため、外国人のお客さまに対しての対応は日本人のお客さまとまったく同じで、何か特別な事をするといったことはない。問題等もまったく出ていない。

## 5. 禁煙・分煙以外の取り組み

- ・お店の一番奥に、空気清浄器を入れて、なるべく煙草の煙がこもらない様には気をつけている。
- ・お店が狭いのでどうしてもこもってしまう時は、少しだけ入口のドアを開けて空気を逃がす様にしている。

## 6. 法律や条例による規制に対する意見

- ・一律の規制ということについては、お店によっての状況が各々違うので、どこまでどのようにかけたらいいのかというのは、すごく難しいことだと思う。

## 7. 全面禁煙の店舗が増えていることの店舗への影響

- ・元々固定客がほとんどなので、煙草が吸えるからといって、喫煙のお客さまが増えたということはない。

### <店頭表示物の現状と期待>

店頭に表示するとしたら、現在扉の外側に、飲食関係のステッカーがいろいろ張ってあるのだが、それと同じコースター位の大きさのシールみたいなステッカーの様な物が良いと思う。デザインは煙草に煙が出ている様な単純な絵の物が、分かりやすくして良いのではないかと思う。